

---

# 2018年3月期 決算説明会

2018年5月21日

株式会社オプティム

代表取締役社長 菅谷俊二

# アジェンダ

1. 会社概要
2. 2018年3月期 決算レビュー
3. 2018年3月期 研究開発レビュー・実績
4. 今後の見通し
5. 2019年3月期 業績見通し

## 免責事項

本資料に記載されている計画、見通し、戦略等はいずれも作成時点で入手可能な情報を基にした予測であり、これらは経済環境、競合状況、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績および戦略は、この配布資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。また、本資料に記載されているマーケット情報などに関わる情報は、公開情報などから引用したものであり、情報の正確性などについて保証するものではありません。

# 会社概要

商号	株式会社オプティム 英語表記：OPTiM Corporation（東京証券取引所一部：3694）
所在地	本店： 佐賀県佐賀市本庄町1 オプティム・ヘッドクォータービル 東京本社： 東京都港区海岸1丁目2番20号 汐留ビルディング21F 九工大前 オフィス： 福岡県飯塚市川津 680-41 飯塚研究開発センター103号室
代表	菅谷 俊二
設立	2000年6月8日
資本金	443百万円
決算期	3月
従業員数	182名（2018年4月現在 正社員） 411名（正社員、契約社員、業務委託等を含む）
主要株主	菅谷 俊二、東日本電信電話株式会社、富士ゼロックス株式会社
事業内容	ライセンス販売・保守サポートサービス（オプティマル）事業 （IoTプラットフォームサービス/ リモートマネジメントサービス/サポートサービス/その他サービス）



# 事業内容について ～ 当社のミッション～

## ネットを空気に変える。

－ ネット端末を、あなた好みに働かせます－



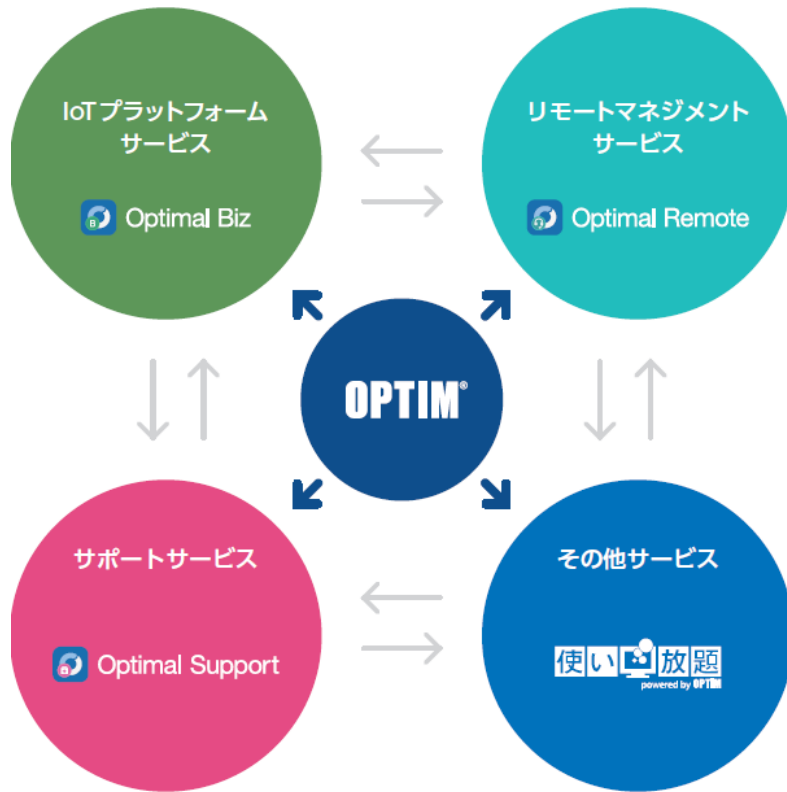
株式会社オプティム

代表取締役社長 菅谷 俊二

当社は、「ネットを空気に変える」というコンセプトを掲げ、もはや生活インフラとなったインターネットが、いまだに利用にあたりITリテラシーを必要とする現状を変え、インターネットそのものを空気のように、全く意識することなく使いこなせる存在に変えていくことをミッションとして、創業以来すべての人々が等しくインターネットのもたらず、創造性・便利さを享受出来るようサポートするプロダクトの開発に尽力しております。

# 事業内容について

## ～ 当社の提供サービス区分 ～



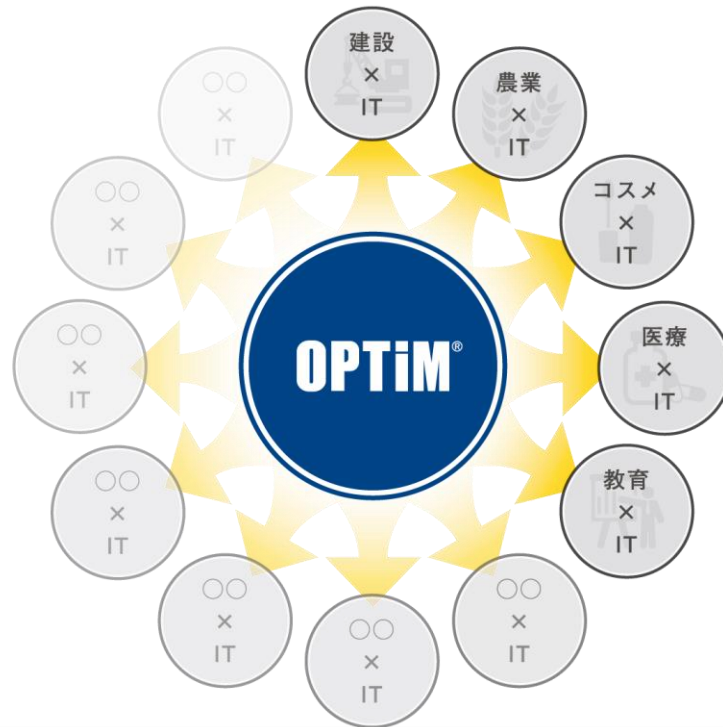
「ネットを空気に変える」ことを目指して事業に取り組んでおりますが、この事業のことを「Optimal事業」と呼びます。これは私たちがつくった造語で、「明日の世界を、テクノロジーの力によって最適化させていこう」という思いが込められています。

「Optimal事業」では、4つのサービス区分に分かれています。

サービスをパズルのように組み合わせて作れる4つの事業  
新しいAI・IoT領域と一つのプラットフォーム

# あらゆる産業とAI・IoT・Robotを融合させる企業

各業界・産業とITを組み合わせる「〇〇×IT」により  
ITの力で業界・産業基盤を再構築していきます



「第4次産業革命」において  
中心的な役割を果たす企業となる

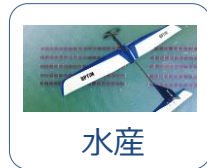
# 事業内容について

～ AI・IoT時代の新しいOS : OPTiM Cloud IoT OS ～



農業

(佐賀県・佐賀大学との  
産学官連携協定)



水産

(有明6者連携協定)



医療

(佐賀県・佐賀大学との  
メディカル・イノベーション研究所)



介護

(織田病院 デジタルヘルスケア  
在宅医療あんしんパック)



建設

(LANDLOG)



ビル/不動産

(Remote Action)



小売

(モノタロウ AI Store)...



電力

Coming soon...



製造

Coming soon...



飲食

Coming soon...



鉄道

(JR九州様とのスマートステーション)

etc...

異常予兆検知

フィジカルセキュリティ

コールセンターソリューション

店舗マーケティング

農業・水産ソリューション

医療・介護ソリューション

スマートフィールド (現場管理)



IoT Explorer



Insight



Map



Cloud Vision



Cod



Stor

OPTiM Cloud IoT OS (AI・IoTプラットフォーム)

ネットワーク

デバイス

---

# 2018年3月期 決算レビュー



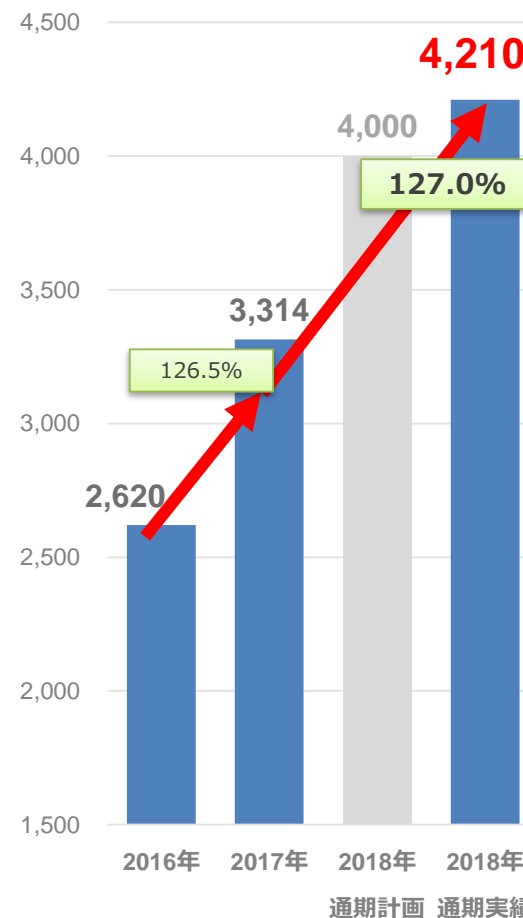
# 2018年3月期 決算レビュー：売上

## 創業来18期連続となる過去最高売上高を達成 2018年3月期の当初売上予測 40億から上振れ、42.10億で着地

売上の9割近くを占めるストック型のライセンス売上については、IoTプラットフォームサービス（前年比130%超）及びその他サービス（前年比160%超）を筆頭にライセンス数を順調に積み上げることが出来たため前年比149.6%の成長となっております。

その結果、全体売上においても前年比127.0%での着地となっております。

## 売上実績の推移



前年比  
(単位：百万円)

# 2018年3月期 決算レビュー：利益

## 第4次産業革命の中心的企業になるべく

AI・IoT・Robot分野への

積極的投資継続中

～ 利益は通期計画範囲通り ～

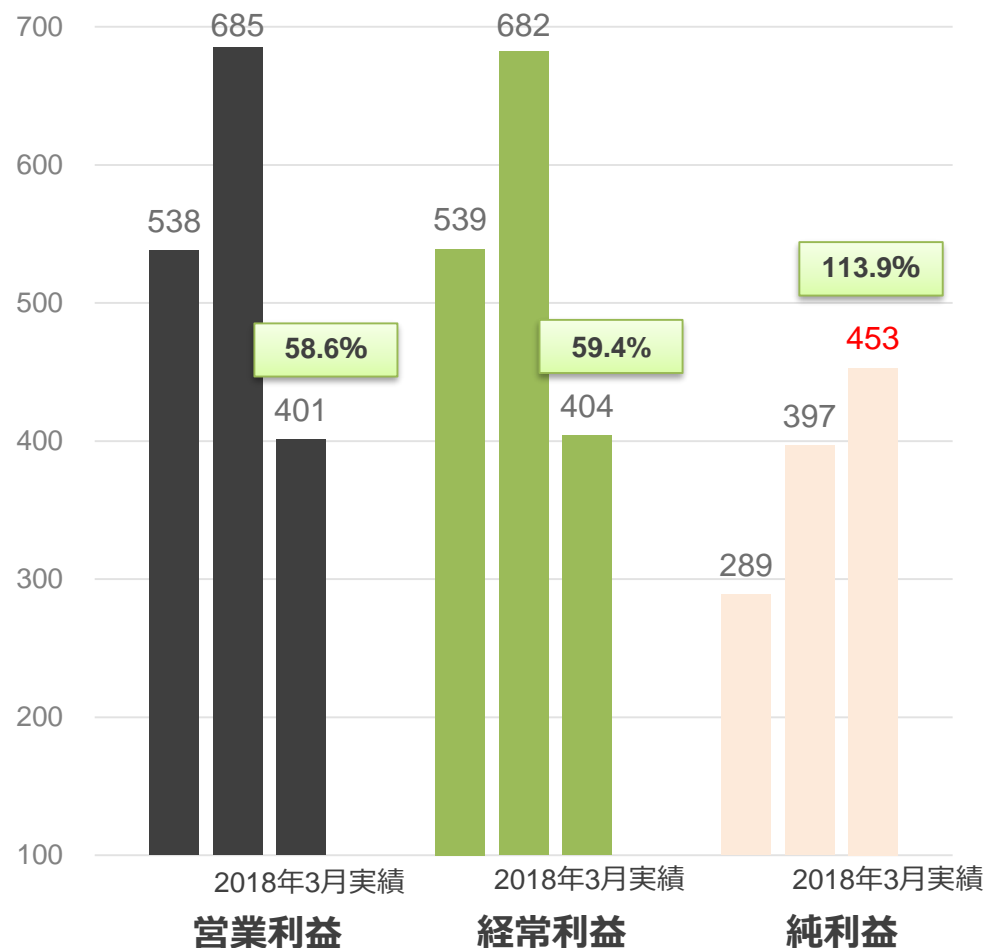
### 【営業利益・経常利益】

期初からの計画通り、当期においては戦略的に例年以上に研究開発投資に注力してまいりました。実績としては、前年比で約130%・金額ベースで4億円超の投資実績となっております。その結果、営業利益、経常利益共に、4億円となっております。

### 【純利益】

期中に吸収合併した株式会社テレパシー・グローバルの影響もあり、純利益は、4.5億円となっております。

## 3か年利益実績推移



前年比

(単位：百万円)

---

# 2018年3月期 研究開発レビュー・実績

# AI・IoT・Robot分野研究開発投資レビュー

2018年3月期 経営方針：

「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるため、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において、研究開発への積極投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、足掛かりとなる1年とする。

具体的には、ここ数年取り組んできた、各業界・産業とITを融合させる「〇〇×IT」によりITの力で業界・産業基盤を再構築する取り組みを推進していく。

# AI・IoT・Robot分野研究開発投資レビュー

## 開発体制整備成果

2018年 期末

開発総工数：**384**人月  
(正スタッフ、契約スタッフ、業務委託等を含む)

**総開発工数2.2倍確保**

**AI・IoT・Robotics人材**  
**10倍確保**

2018年 期初

開発総工数：**174**人月

# AI・IoT・Robot分野研究開発投資レビュー

## 開発体制整備成果

2018年 期末

開発人員数：**411**人

(正スタッフ、契約スタッフ、業務委託等を含む)

AI・IoT・Robotics人材  
179人増

2018年 期初

開発人員数：**232**人



# 株式会社テレパシー・グローバル 株式取得（完全子会社化）

## OPTiM : AI・IoTソフトウェアテクノロジーを 最大限引き出すグローバル・ロボティクスチーム買収

- Cloud IoT OSは日進月歩で成長を遂げており、農業・建設・医療等幅広い分野で、スマートグラス・ドローン・ホーク・クローラー等、多種多様なハードウェアと連携することで、サービスが急速に拡大を始めています。
- テレパシー・グローバルは、NASDAQ に上場するシリコンバレーの有力ベンチャーキャピタルであるFirsthand Technology Value Fund, Inc. 支援のもと、日米欧におけるスマートグラスやIoT センサ等、各種 IoT 関連ハードウェアの開発・導入並びにサービスの立ち上げを幅広く支援してきました。特に企画・開発・設計・調達・保守・運用までを統合的に行う、実用的な IoT サービスの経験・知見に定評があります。

# AI・IoT・Robot分野研究開発投資レビュー

## 研究開発成果

- **農業xIT** : ドローン・AIを用いた**世界初・ピンポイント農薬散布テクノロジー**による大豆の栽培に成功・販売開始
  - **スマート農業ソリューション**を発表
  - **スマート農業アライアンス**の設立（70生産者参画・50ha栽培開始）
  - **SMART AGRI**メディアを開設（<https://smartagri-jp.com/>）
- **建設xIT** : コマツ・オプティム・ドコモ・SAPによる合弁会社  
建設・土木におけるオープンプラットフォームの開発・事業化を目的とした**株式会社ランドログ**設立 -- 約180社が参画検討中
- **医療xIT** : **医療機器製造業登録証**取得
  - AI遠隔医療サービス拡充
  - AI在宅医療サービス**Smart Home Medical Care** 提供開始
  - AI眼底レントゲン解析サービス佐賀大学病院・美川眼科と臨床開始
- **小売xIT** : 無人店舗 **モノタロウAI Store**の開設



# AI・IoT・Robot分野研究開発投資レビュー

## 研究開発成果

- OPTiM Cloud IoT OSに対応したAI関連新14サービスを発表・提供開始 ①

### AI Physical Security Service

- ディープラーニングを活用した画像解析によるセキュリティサービス

### AI Predictive Maintenance Service

- 機器故障等の事前検知を行うAI予知保全サービス

### AI Voice Analytics Service

- 音声データのテキスト化や分析を行うAI音声解析サービス

### AI Call Center Service

- 音声解析AIを活用したAIコールセンター支援サービス

# AI・IoT・Robot分野研究開発投資レビュー

## 研究開発成果

- OPTiM Cloud IoT OSに対応したAI関連新14サービスを発表・提供開始 ②

### Smart Retail Management

- AIを用いた空席検知などのマーケティングと防犯対策を実施する店舗管理支援サービス

### Smart Field

- 現場で働く方々を統合的に支援・管理するサービス  
Optimal Second Sightと連動し、現場の更なる生産性向上を実現

# AI・IoT・Robot分野研究開発投資レビュー

## 研究開発成果

- OPTiM Cloud IoT OSに対応したAI関連新14サービスを発表・提供開始 ③

Agri Field Manager

– 圃場情報管理サービス

Agri House Manager

– ハウス情報管理サービス

OPTiM Hawk(新固定翼)

– 固定翼ドローン

OPTiM Agri Drone(新型)

– マルチコプタードローン

OPTiM Crawler

– 陸上走行型ロボット

Agri Assistant

– 農作業記録・GAP取得支援サービス

アグリブロックチェーン

– ブロックチェーンを活用したトレーサビリティプラットフォーム

スマートやさい

– OPTiMスマート農業で栽培された野菜

---

# 今後の見通し

# 今後の見通し

## 〇〇×IT戦略に対する投資継続

更なるAI・IoT・ロボットの技術獲得を推進する

AI・IoT・Robotics分野への積極投資を継続し、本格的な売上計上、及び、利益回収を以下年表に基づき実現していく。

### 研究開発投資推移イメージ



※表示は年度

---

世界一、AIを実用化する企業になる

---

# 2019年3月期 業績見通し

# 2019年3月期 売上計画

第4次産業革命に向け、「OPTiM Cloud IoT OS」で国内デファクトスタンダードを獲得し第4次産業革命を本格的にリードする企業を引き続き目指してまいります。

そのために IoT/AI/Robot分野で昨年度以上の積極的な事業展開、及び、集中投資を行い、必要な研究開発を進めてまいります。

Cloud IoT OSは、あらゆる人に直感的なユーザ体験  
“IoT端末の制御・データ解析・AI・クラウドサービスとの連携”  
を提供するプラットフォームです

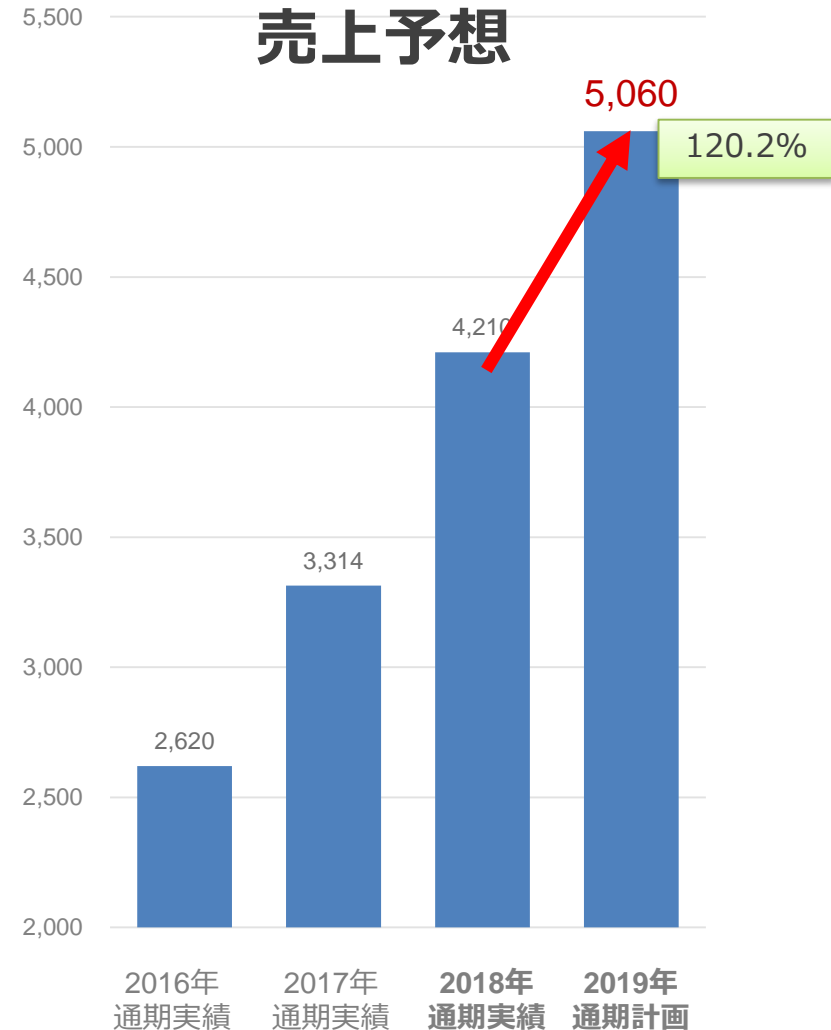


OPTiM CLOUD IoT OS

前年比

(単位：百万円)

## 売上予想





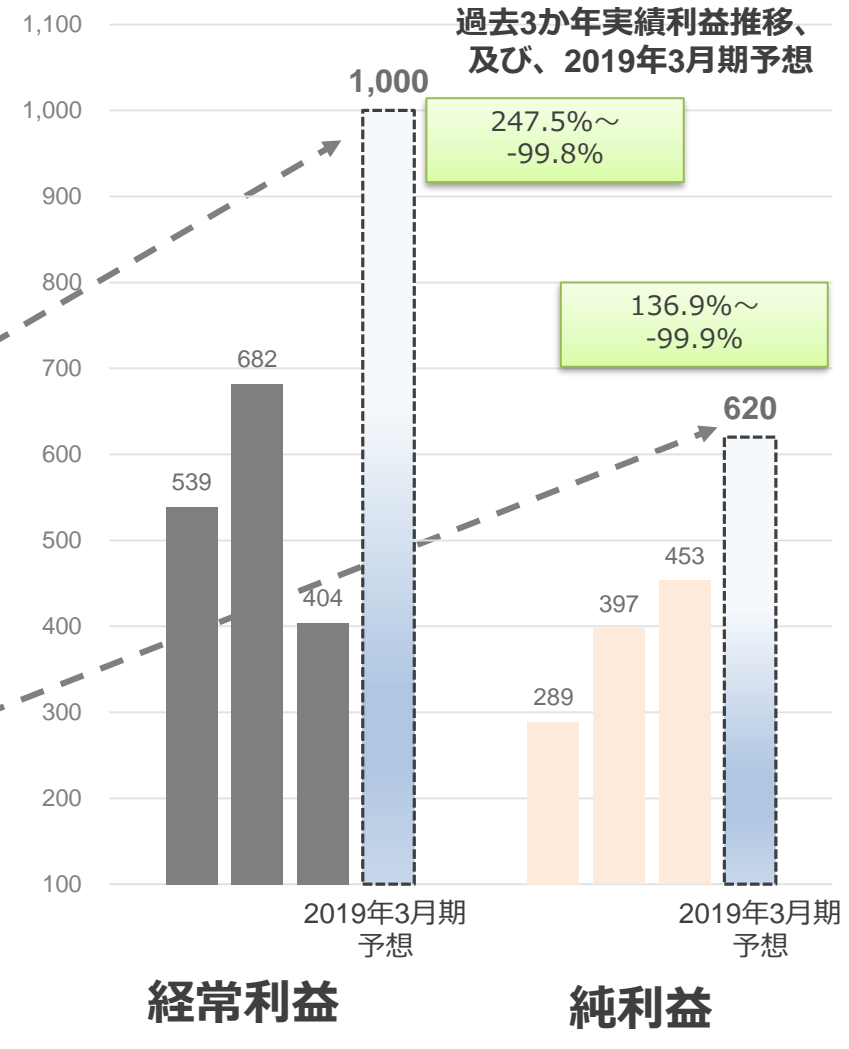
# 2019年3月期 利益計画

第4次産業革命の中心的企業になるべく  
AI・IoT・Robot分野に積極的な投資を行う

そのため今期も前期に引き続き、  
レンジ形式による経常利益・純利益  
予想を採用します

2019年3月期  
経常利益10億円~100万円  
純利益6.2億円~62万円  
の範囲で計画

利益がマイナスにならない範囲において、  
研究開発への積極投資を実施  
進捗が分かり次第速やかに開示



# 2019年3月期 計画

- 2019年3月期の業績は、創業来19期連続となる過去最高売上高を目指します。既存サービスの安定した成長による、売上50.6億円（前年比売上高120.2%）は達成可能な見通しです。
  - 当社が展開する市場は堅調に拡大を続けており、その市場のなかでの当社の位置づけも優位な状況であることは変わっておりません。来期においても例年通りの成長投資をかけることを前提とすると、**既存サービスにおける売上は、前期比で20%程度の成長率、営業利益・経常利益については、対売上比で20%程度は見積もることが出来る状況**となっております。
  - ただし、世界の大きな潮流は、AI、IoT、Robotを活用した「第4次産業革命」へと加速度をあげて移行しております。時代の大きな転換点を鑑みるに、「第4次産業革命」において中心的な役割を果たす企業となるためには、より一層の研究開発投資が必要であると判断しました。**2019年3月期については、2018年3月期同様、最大、経常利益がマイナスにならない範囲において、研究開発への積極投資を実施し、成果を掴みつつあるOPTiM Cloud IoT OSでデファクトスタンダードを獲得するための、更に足掛かりとなる1年としていきたいと考えております。具体的には、ここ数年取り組んでまいりました、各業界・産業とITを融合させる「〇〇×IT」によりITの力で業界・産業基盤を再構築する取り組みを引き続き推進してまいります。**
- 売上、利益ともに新規サービスの受注により拡大の可能性を残しております。なお、計画値と乖離が生じた場合には、速やかに開示します。

**OPTiM**

[www.optim.co.jp](http://www.optim.co.jp)

**OPTiM**